

## 第4回住民会議意見概要（教育部会）

日時：平成 28 年 7 月 21 日（木）19：05～21：05

場所：3 階 庁議室

### ■基本計画案に関する意見

- ・基本構想を検討している時に、ICTをうまく使う。スマホ使用のルールづくりなどが出ていたが、どこに入っているのか。入っていない場合はどこに位置づけるのか。前年度の住民会議で話し合った内容が漏れている内容がないかチェックが必要。
- ・子どもの飲酒、喫煙、薬物使用、非行などの現状はどうなっているのか。非行対策を考える場合には何を中心に取り組んでいくのか。
- ・今、まちの中で以前のように、コンビニの前で集まる子どもを目にしない。不良は減ったのか。
- ・以前の非行少年のような子どもは少ないかもしれないが、引きこもりや不登校などに形が変わっているのではないか。また、外で集まるのではなく、保護者がいない友達の家に集まっていることがある。不良や社会的に孤立している子どもが減ったというよりも「見えづらくなった」のではないか。
- ・PTA 活動自体に対する行政の支援も必要ではないか。
- ・奨学金について、基本計画の中に位置づけることはできるか。
- ・環境教育は、どこかで明記されているか。
- ・県立ではあるが、南風原町に立地する南風原高校、沖縄盲学校を資源として捉え、計画で取り組みを検討することも必要ではないか。

### 1.安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育

#### （1）家庭教育の重要性の周知

- ・スマホ利用のルールを町で定めて良いのではないか。スマホを子どもに買い与えるのは親であり、学校の努力だけでは解決できない。浦添市では、市と教育委員会とPTAが連携して市におけるルールを決めた。
- ・携帯電話やスマートフォンの使用に潜む問題、危険性などについて親自体が良く理解していない。これらについて広く周知が必要。

#### （2）家庭教育を考える機会の充実

- ・沖縄県では家庭教育支援推進計画をもとに「親のまなびあいプログラム」を推進している。これを活用して南風原町で家庭教育支援の底上げが可能だと思う。また県では水曜日を「親子の日」として、親子で過ごす時間を設けることを推奨している。

## 2.地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

### (4) 文化・伝統・芸能等の保全・継承、活用

- ・文化・伝統・芸能の継承の中心は、青年会や自治会、子ども会などが担っている。これら活動支援が必要。

## 3.個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

### (4) 子どもたちが安心してのびのびと学ぶ環境づくり

- ・危機管理能力の向上について、今の表現では安全マップの活用が中心となっている。前年度の住民会議でも出されたスマホなどの利用に潜む危険性とその対処なども、そこに含めることができるのではないか。